

普通ふつうにおもしろい

先日、友だちともと映画えいがを見みにいった。映画えいがを見みたあと、その映画えいがについて友だちともと話はなした。

「映画えいが、どうだった？」

「普通ふつうにおもしろかった」

「うん、普通ふつうにおもしろかったよね。最後さいご、感動かんどうして泣ないちゃった」

「うん、うん」

そう、その映画えいがは普通ふつうにおもしろかった。

その夜よる、夕ごはんゆうを食べたたあと、母ははは私わたしにこう聞きいた。

「どう？ おいしかった？」

私わたしは答こたえた。

「うん、普通ふつうにおいしかったよ」

すると、母ははは少しすこ残念ざんねんそうな顔かおをして

「普通ふつうに、ってどういうこと？ あまりおいしくなかった？」

と言いった。

いや、普通においしかった。「すごくおいしい」わけじゃないけど、「けっこうおいしい」というか、「ちゃんとおいしい」というか、「まあまあおいしい」というか……。あ、「まあまあおいしい」は、「普通においしい」より下かな？ よく考えると、よくわからなくなってくる。

そんなことを考えていたら、父がスマホの使い方を聞いてきた。

「このビデオ、ダウンロードしたいんだけど、どうすればいいの？」

私は答える。

「普通に、ここ押して、で、普通に『ダウンロード』ってのを選べばできるよ」

父は笑いながら言う。

「普通に押す、って（笑）。じゃあ、普通じゃなく押すこともあるの？ 踊りながら押すとか、歌いながら押すとか？」

「いや、普通に。なんて言ったらいいのかな……。普通に押すんだよ、普通に」

考えれば考えるほど、わからなくなってくる。

映画は普通におもしろかった。感動して泣いちゃったし。母のごはんは普通においしかった。母の作るものはいつもおいしくて、今日もいつも通りおいしかった。

た。スマホは普通に押せばいい。簡単なことだ。押すだけでいい。

あー、普通、こんなに難しいこと考えないから、普通に疲れた。もう普通にゲームして普通に寝よう。

(723字)

(2022.10 Written by Junko SATO)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<https://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.